

## 第7期介護保険料の考え方について

第7期計画期間(平成30年度～平成32年度)における介護保険料については、介護サービス見込量及び保険給付に係る費用と負担の見込から算定します。

### 1 保険料算出における基本的事項

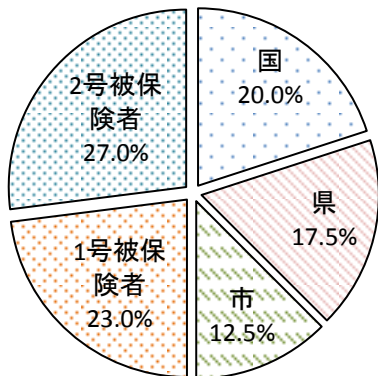
#### (1) 介護保険の財源の仕組み

介護保険の財源は、法令に定められた負担割合による国、県、市の公費負担部分と第1号、第2号被保険者の保険料で構成されています。

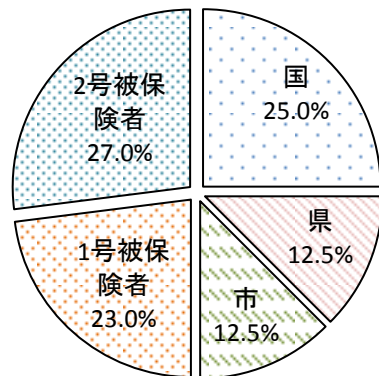
第7期における第1号被保険者の保険料の負担割合は、現行の22%から23%へ、第2号被保険者の保険料割合は28%から27%へと変更される予定です。

#### ① 保険給付の財源

施設等給付費の財源

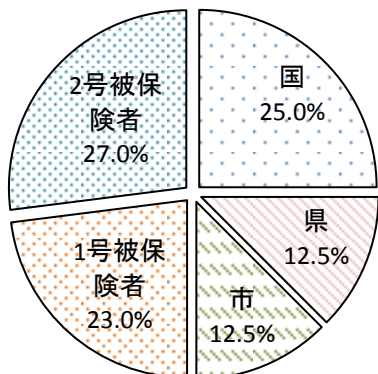


居宅・地域密着型サービス等の財源

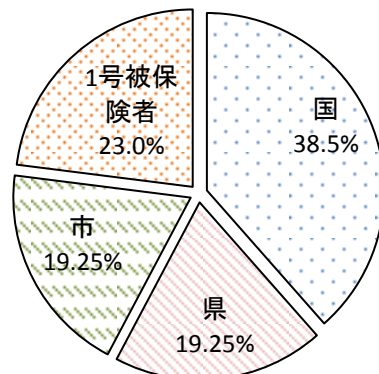


#### ② 地域支援事業の財源

介護予防・日常生活支援総合事業



包括的支援事業・任意事業



## (2) 介護保険料算出の手順

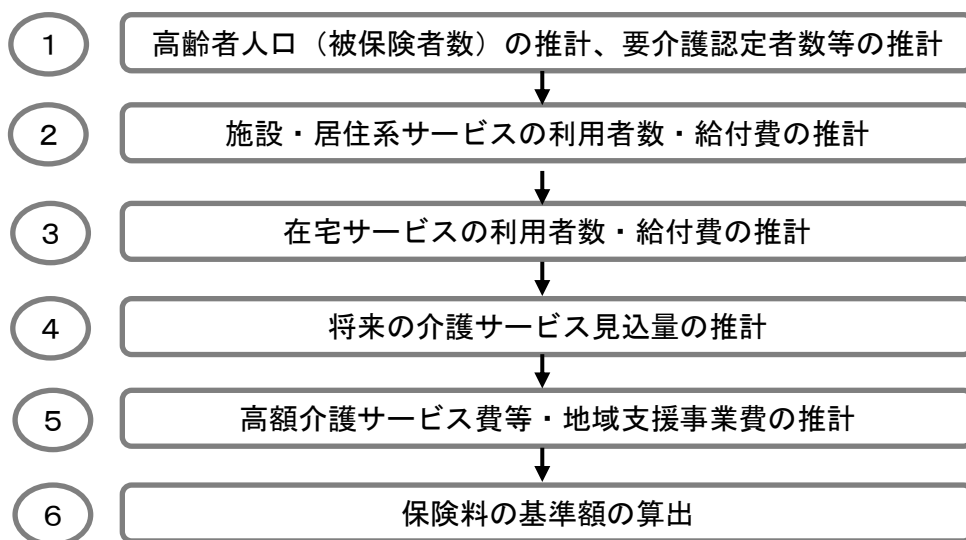
### ①保険料収納必要額の算出

計画期間の3年間における保険給付費等を推計し、最終的には、その23%である第1号被保険者負担分に調整交付金や介護給付費等準備基金の繰入金等を加味し、「保険料収納必要額」を算出します。

### ②保険料基準額の算出

①で算出した保険料収納必要額を、計画期間の3年間において推計される第1号被保険者数で除し、保険料基準額を求めます。算出の際には、予定保険料収納率も勘案します。

なお、第1号被保険者の負担能力に応じた所得段階の保険料となるよう、第6期は12段階に保険料段階を細分化しています。



## 2 国の動向

保険料の算定に影響を与える国の動向として、今後方針が示される予定です。

①介護報酬の改定

②3割負担の導入、消費税等の見直し等に伴う総給付費への影響